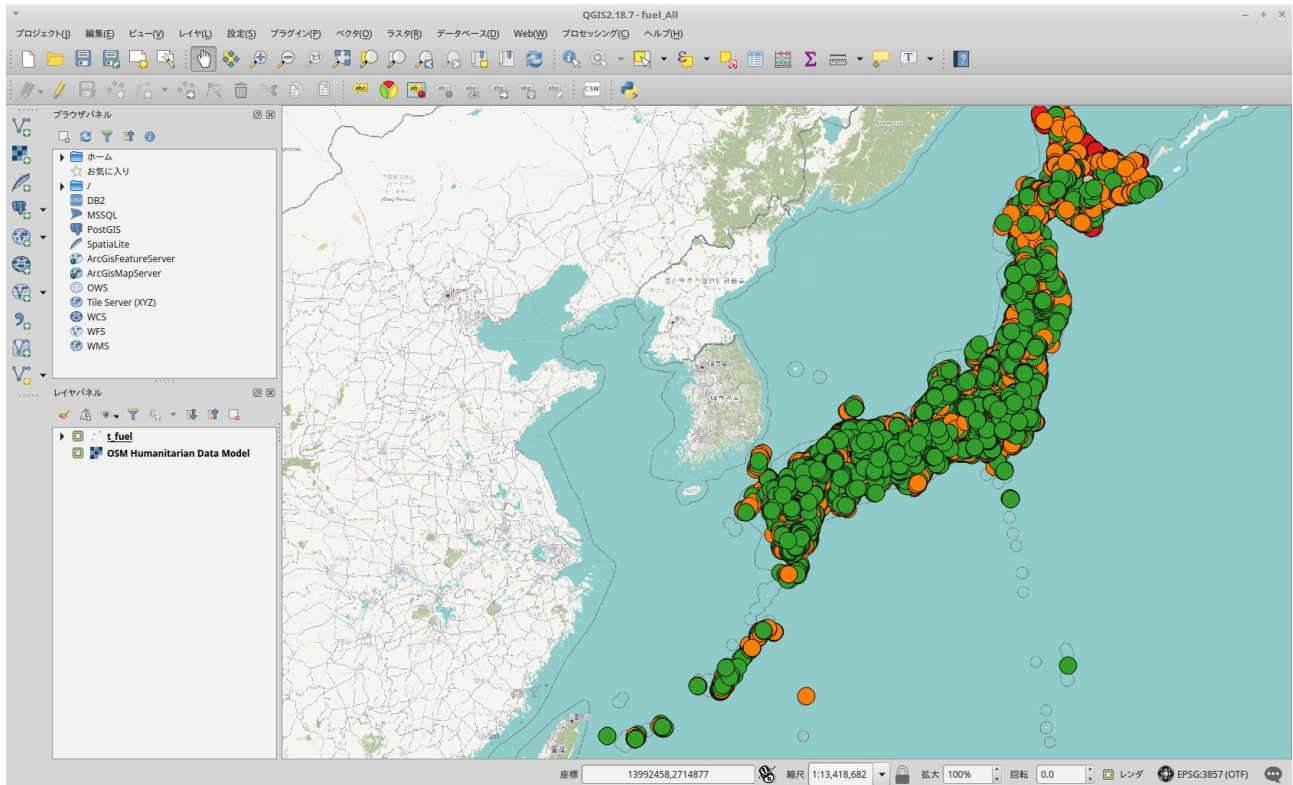


OSM カバレッジ

FUEL(PostGIS) の利用方法



1. QGIS のインストール

QGIS をインストールしてください。インストールの方法はネットで調べてね。

こことか→<https://sites.google.com/site/qgisnoiriguchi/start2use> Widows

こことか→http://qiita.com/w_shon/items/979a97939ba4d2fd5c82 Mac

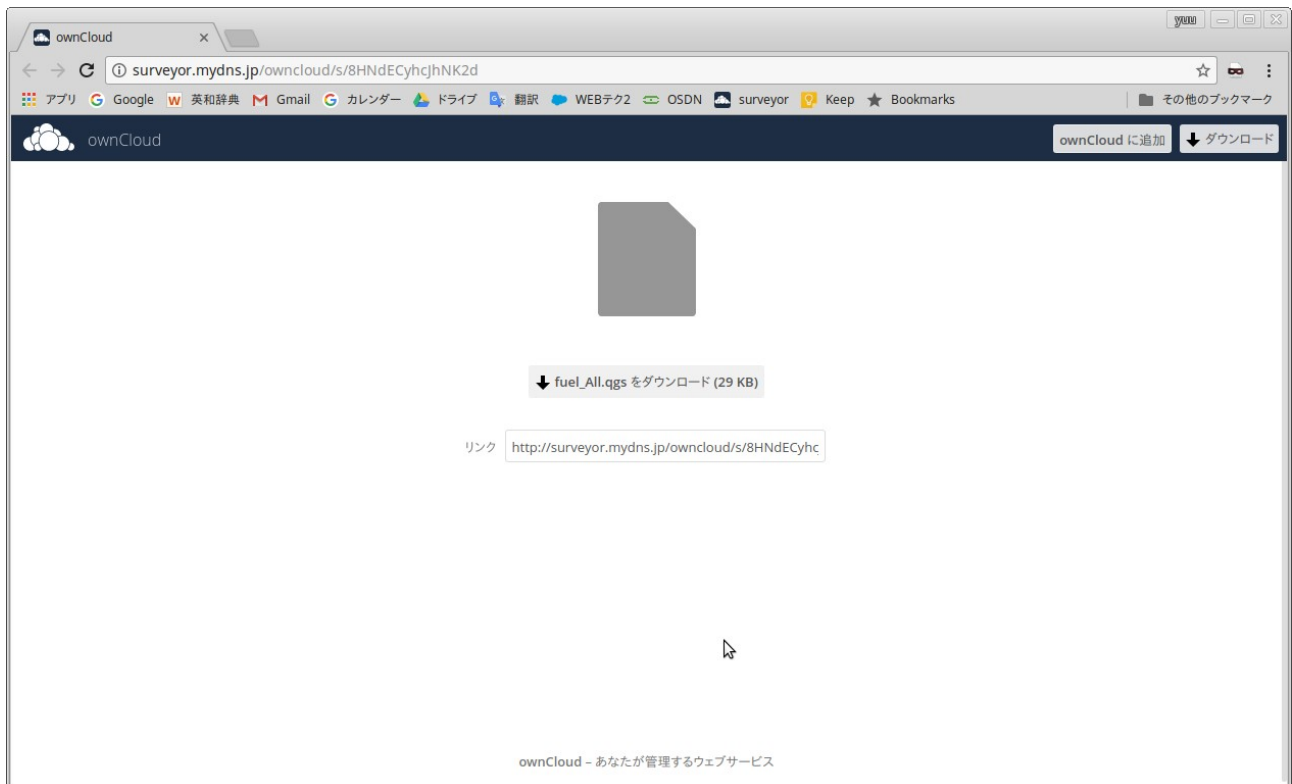
Linux はここを→<http://www.mk-mode.com/octopress/2014/07/09/qgis-installation-to-linux-mint/> 見てください。

ここでは Ubuntu 16.04 へのインストールを示します。

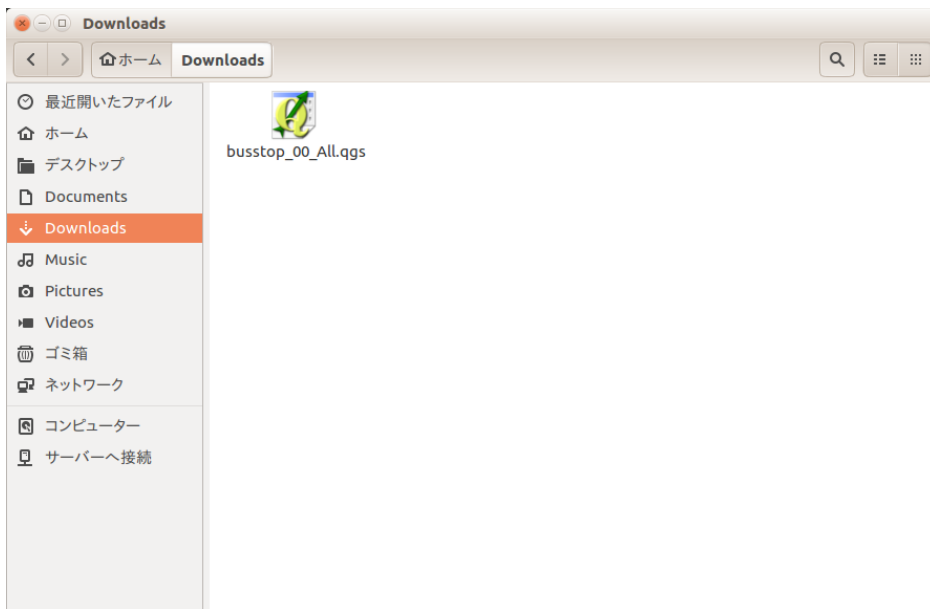
```
$ sudo apt install qgis
```

2. PostGIS へ接続

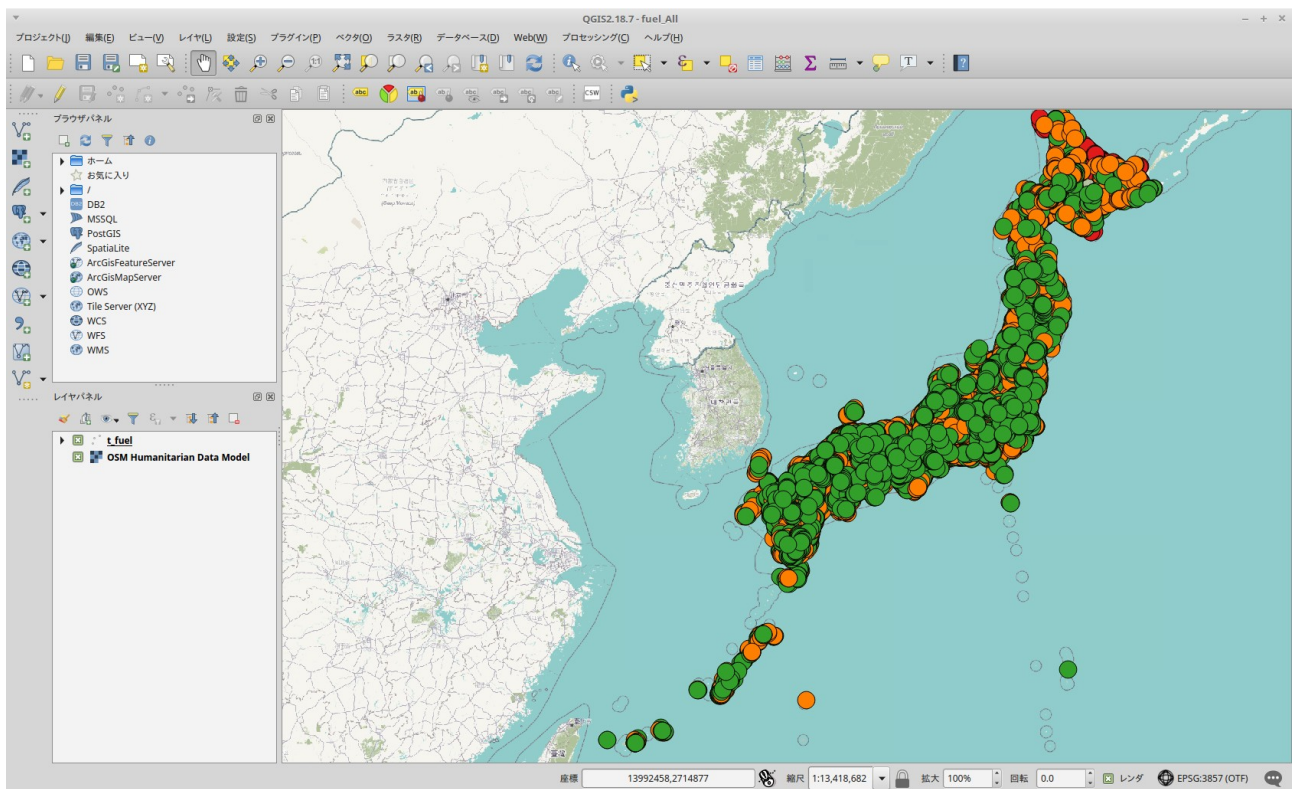
QGIS を起動する前に [こちら](http://surveyor.mydns.jp/owncloud/s/8HNdECyhkJhNK2d)[<http://surveyor.mydns.jp/owncloud/s/8HNdECyhkJhNK2d>]から [fuel_All.qgs](#) ファイルをダウンロードしてください。



ダウンロードした QGS ファイルをダブルクリックすると、QGIS が起動されます。



起動までしばらく時間がかかります。
うまく表示されるように祈りながら待ちましょう。

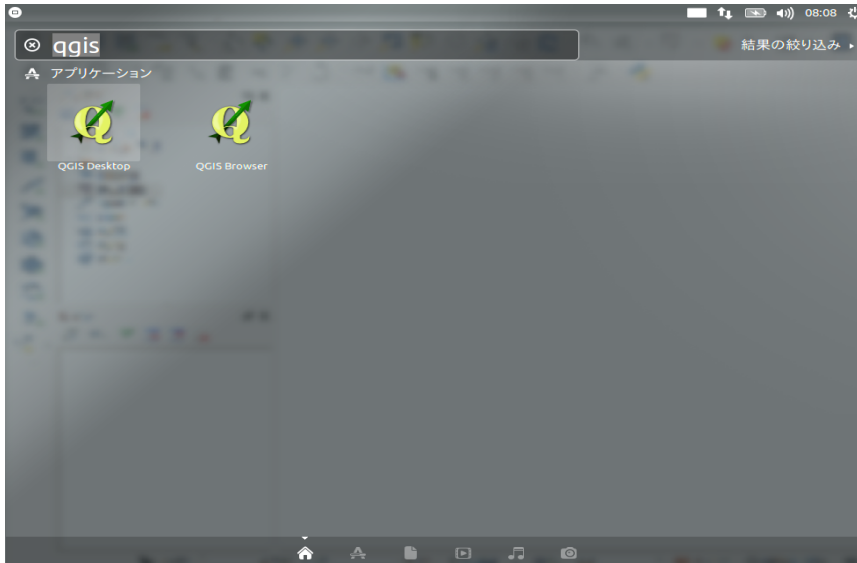


運が良ければ、こんな感じで表示されます。

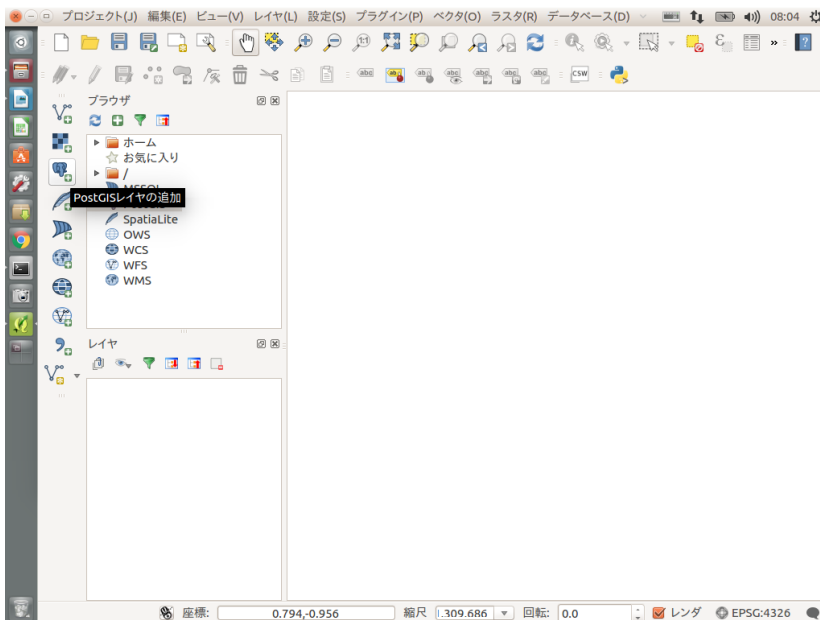
* osmCoverage レイヤーの設定方法

うまく表示されない場合は、QGS ファイルに頼らずに手動で設定してみましょう。

1. QGIS desk を起動する。



2. PostGIS レイヤーの追加



「新規」ボタンをクリック



新規 PostGIS 接続を作成

接続情報

名称

サービス

ホスト

ポート

データベース

SSLモード

ユーザ名

パスワード

ユーザ名の保存

パスワード保存

レイヤレジストリ内のレイヤのみ表示する

制限のないカラムのタイプ(GEOMETRY)を解決しない **レイヤ**

'public'スキーマのみ参照する

ジオメトリを持たないテーブルもリストする

概算されたテーブルメタデータを利用する

- 名称: なんでもいい
- ホスト: surveyor.mydns.jp
- ポート: 5432
- データベース: gisdb
- ユーザ名: gisuser
- パスワード: gisuser

証明書入力

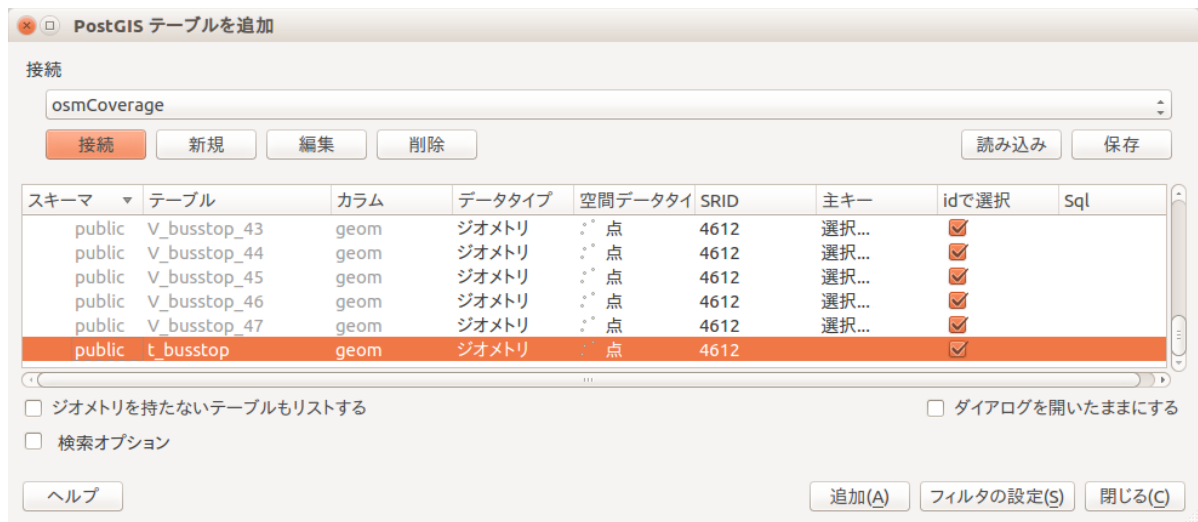
範囲 dbname='gisdb' host=surveyor.mydns.jp port=5432 sslmode=disable

ユーザ名

パスワード

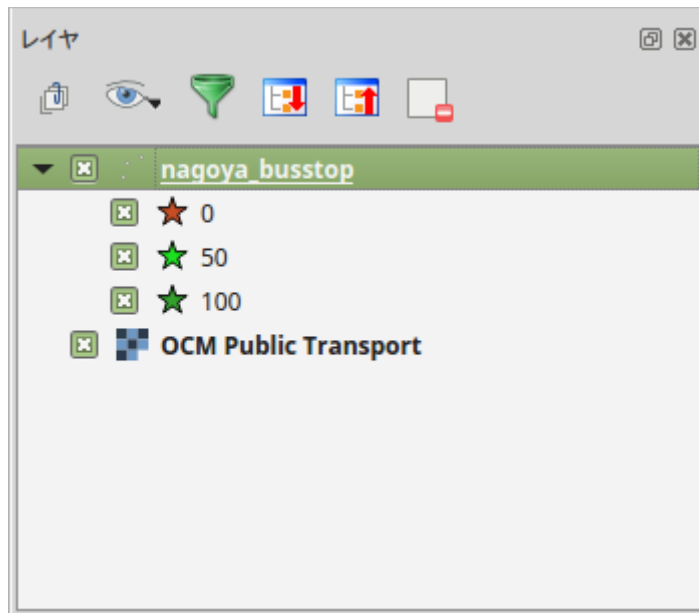
FATAL: ロール"yuu"は存在しません

- ユーザ名: gisuser
- パスワード: gisuser

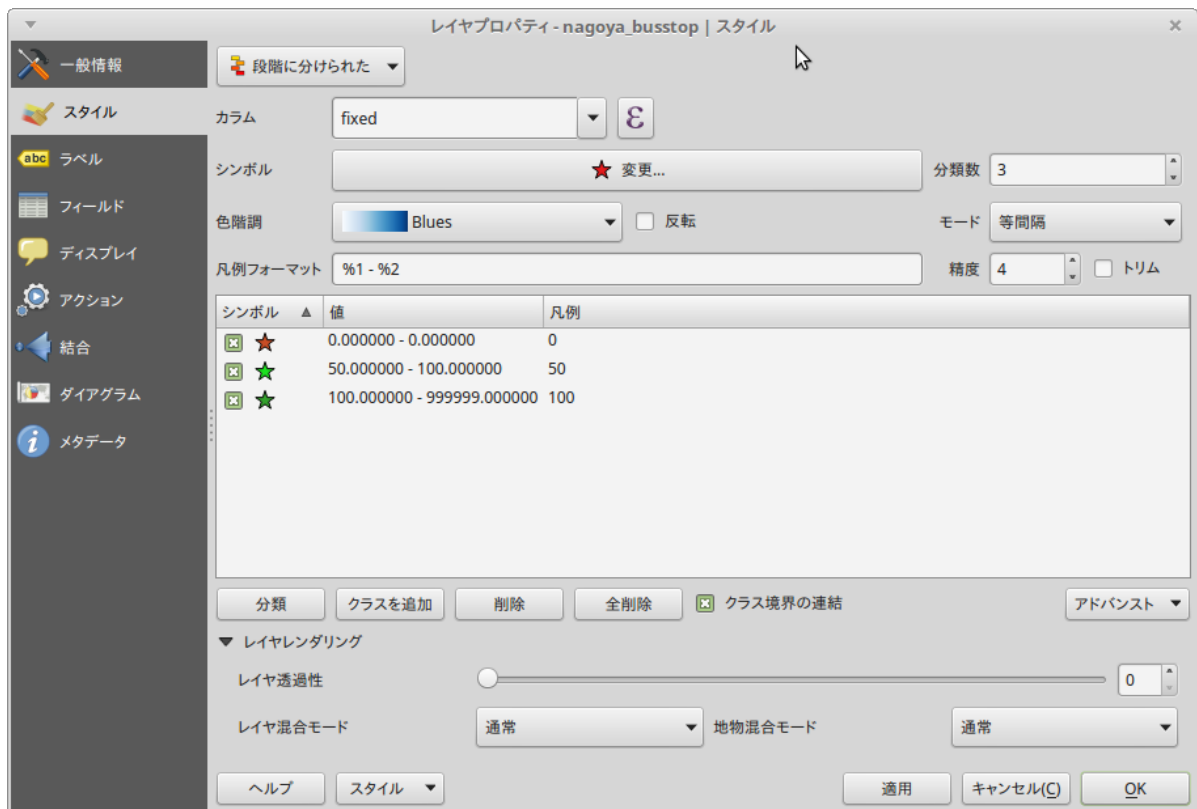


public ツリーを展開して、「t_fuel」を選択してから、
「追加(A)」ボタンをクリック

- 色分け設定

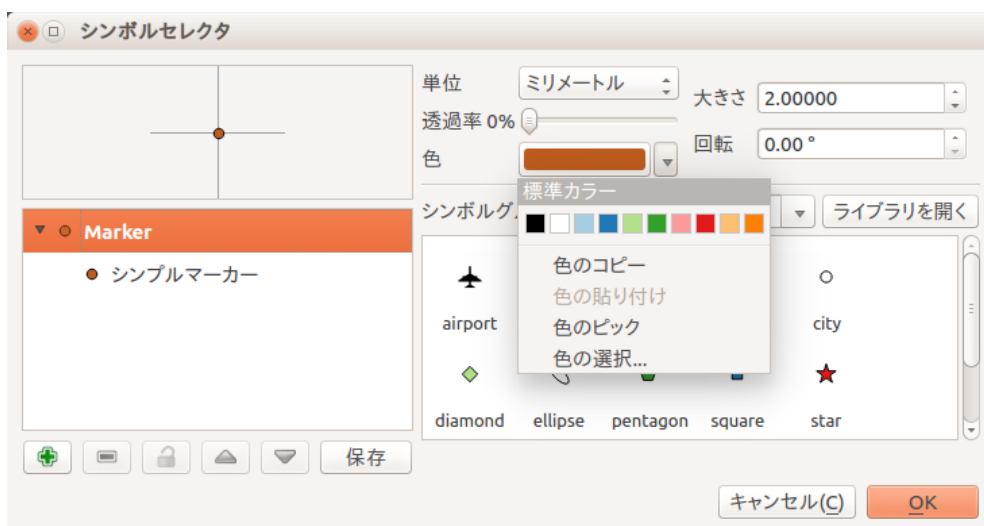


レイヤーパネルの[t_fuel]をダブルクリック。



- [スタイル]を選択
 - 「段階に分けられた」を選択
 - カラムに「fixed」を選択
 - 精度を「-2」（値のところに小数点）
 - 「クラス境界の連結」のチェックを外す
 - 「クラスを追加」ボタンを3回押して三段階のクラスを追加して図のように設定する。

各クラスをダブルクリックして段階ごとのシンボルの色を変えます。

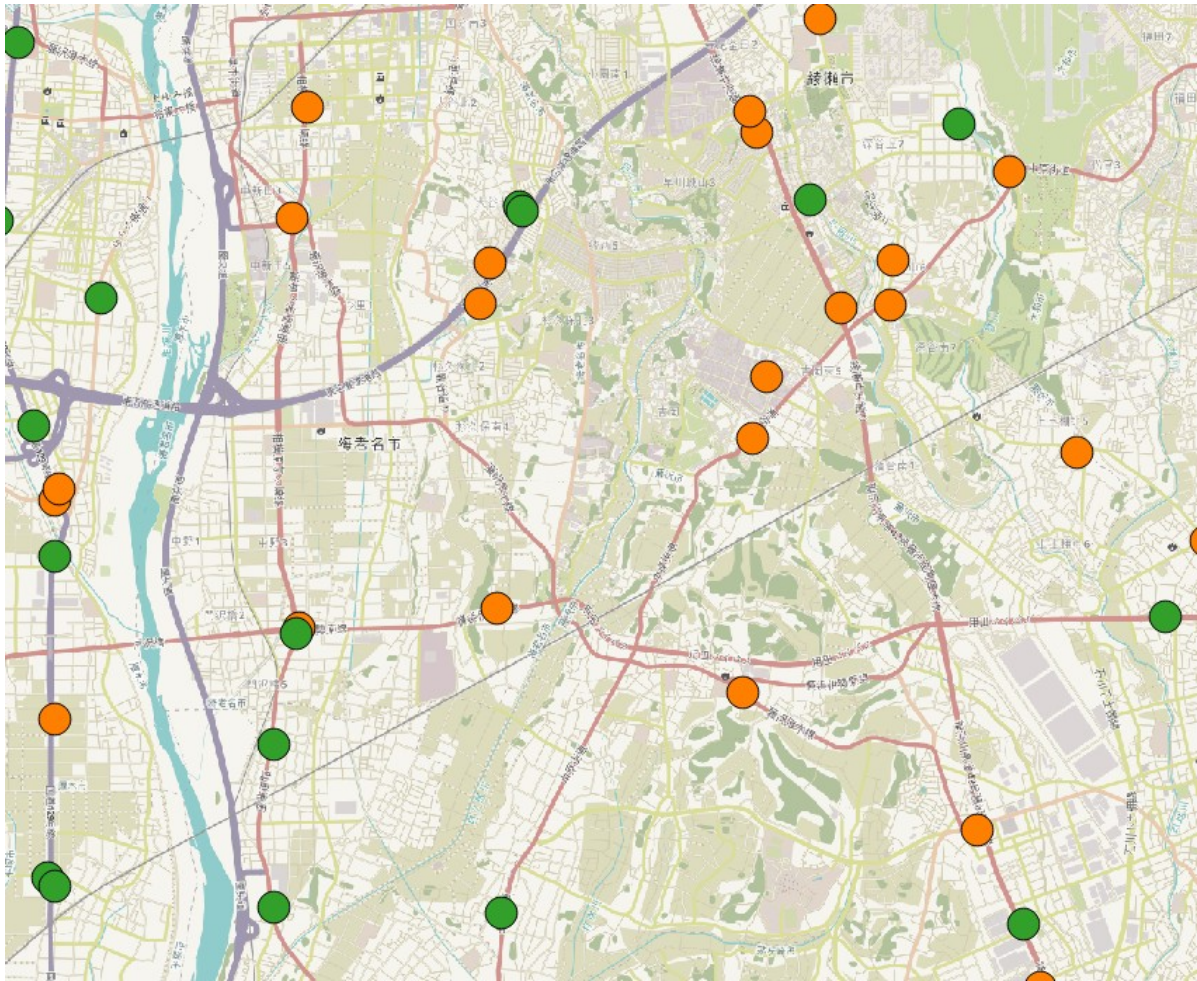


お好きな色に変更してください。

「適用」をクリック

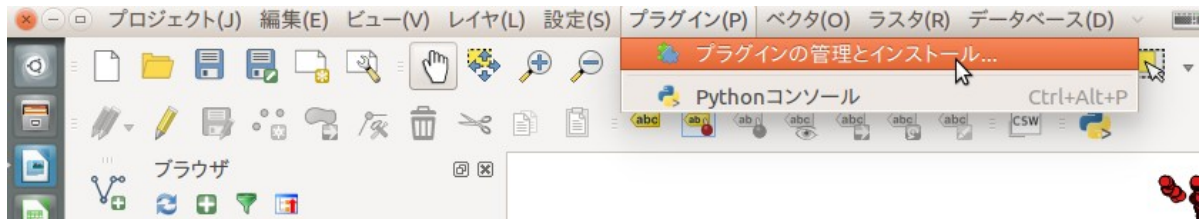
「OK」で閉じる

できあがり!!

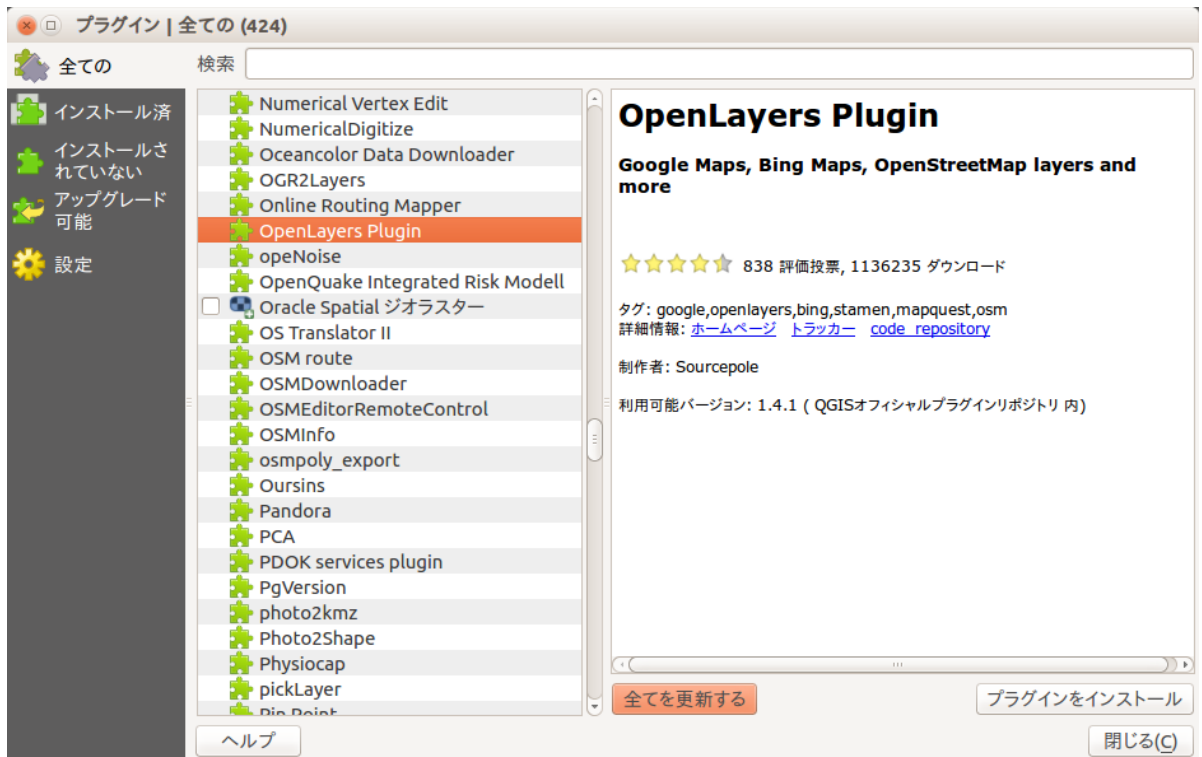


拡大して入力状況を細かくチェック!!

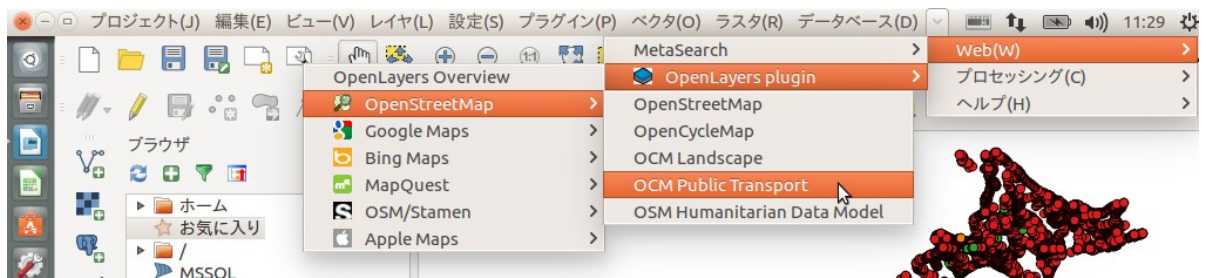
* OSM マップを背景に追加する



QGIS のメニューから[プラグイン(P)]->[プラグインの管理とインストール...]を選択



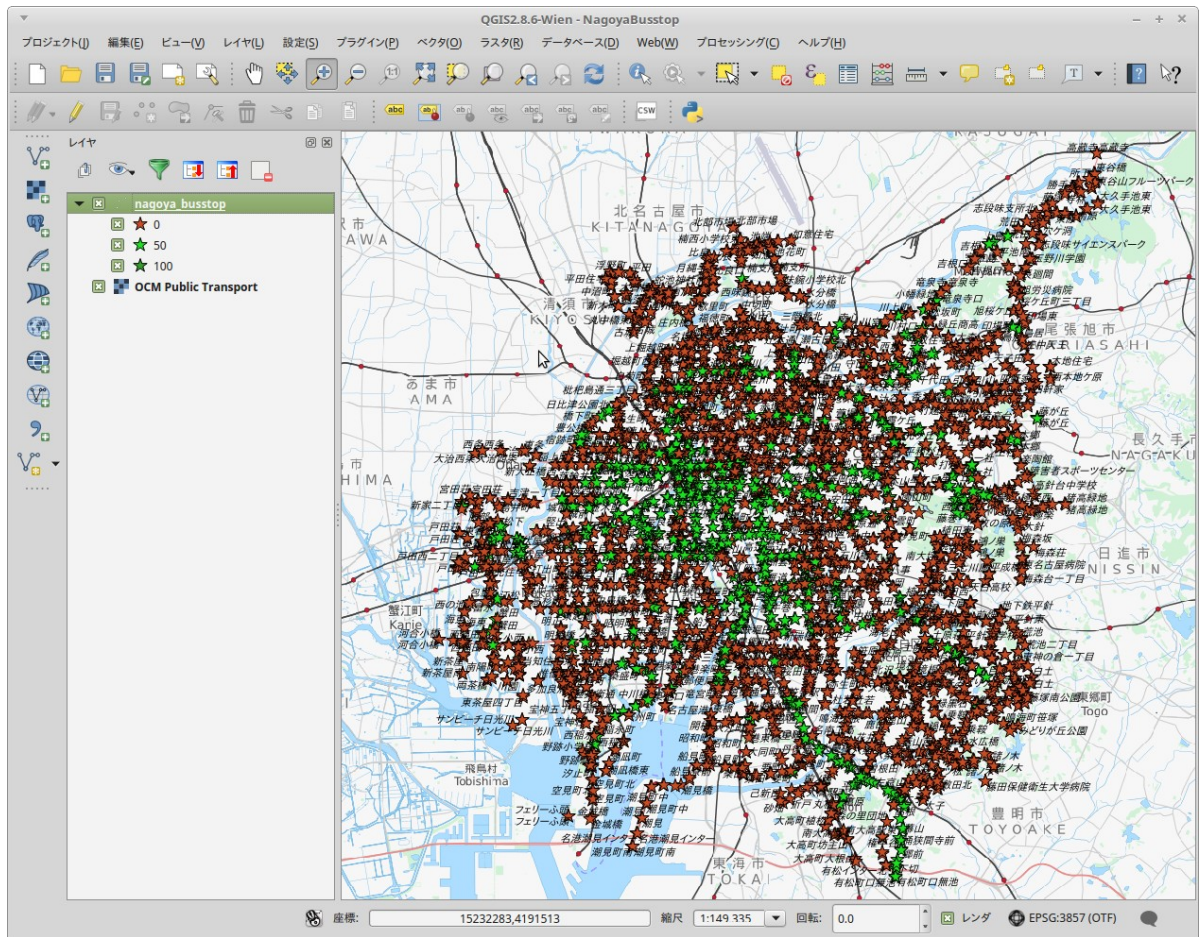
「OpenLayers Plugin」を選択して「プラグインをインストール」をクリック



QGIS のメニューから[Web(W)] → [OpenLayers plugin] → [OpenStreetMap] → [OSM Public transport]を選択

OSM 地図が表示されますが、肝心のデータが見えなくなりました。

レイヤパネル内の「OSM Public transport」を一番下に移動させると



完成です!!!